

理学療法コース主要機器・備品リスト

NO,	機器名称	数量	参考室名
1	動物解剖器具	15	基礎医学実習室
2	解剖台	8	基礎医学実習室
3	人体解剖用スライド	1	基礎医学実習室
4	心電図計測用具一式	1	基礎医学実習室
5	心筋動物実験用具	8	基礎医学実習室
6	ヘモグロビン酸素飽和度測定装置	1	基礎医学実習室
7	神経筋動物実験用具一式	3	基礎医学実習室
8	神経検査器具一式	8	基礎医学実習室
9	顕微鏡	3	基礎医学実習室
10	医薬品保管用冷蔵庫	1	基礎医学実習室
11	多用途記録装置	1	基礎医学実習室
12	人体骨格標本 全身組立	3	基礎医学実習室
13	人体骨格標本 全身個別	8	基礎医学実習室
14	人体解剖模型	1	基礎医学実習室
15	呼吸器模型	1	基礎医学実習室
16	気管支肺血管分岐模型	1	基礎医学実習室
17	心臓模型	1	基礎医学実習室
18	血管系模型	1	基礎医学実習室
19	脳模型	1	基礎医学実習室
20	脊髓横断模型	1	基礎医学実習室
21	末梢神経系模型	1	基礎医学実習室
22	感覚器模型 聴覚模型	1	基礎医学実習室
23	感覚器模型 視覚模型	1	基礎医学実習室
24	関節種類模型 (6種)	6	基礎医学実習室
25	筋模型 上肢 (2種)	2	基礎医学実習室
26	筋模型 下肢	2	基礎医学実習室
27	スパイロメーター	2	機能訓練室
28	呼気ガス分析装置一式	1	機能訓練室
29	筋電図計測用具一式	1	機能訓練室
30	視力表	1	機能訓練室
31	色盲表 (色覚検査表)	1	機能訓練室
32	ストップウォッチ	15	機能訓練室
33	メトロノーム	3	機能訓練室
34	筋機能解析装置	1	機能訓練室
35	時値計	1	機能訓練室
36	起立訓練ベッド	1	機能訓練室
37	姿勢鏡	1	機能訓練室
38	バランスボード	1	機能訓練室
39	平行棒 (2種)	2	機能訓練室
40	階段一式	1	機能訓練室
41	スロープ	1	機能訓練室
42	歩行器 (5種)	5	機能訓練室
43	杖 (6種)	6	機能訓練室
44	プラットホームマット	2	機能訓練室
45	マット	15	機能訓練室
46	バルーン (3種)	3	機能訓練室
47	ロール (3種)	3	機能訓練室
48	三角マット (3種)	3	機能訓練室
49	プッシュアップ台セット (3種)	3	機能訓練室

理学療法コース主要機器・備品リスト

NO.	機器名称	数量	参考室名
50	重錘バンド	2	機能訓練室
51	砂袋	2	機能訓練室
52	鉄重鈴	2	機能訓練室
53	オーバーヘッドフレーム	1	機能訓練室
54	滑車	8	機能訓練室
55	肋木	1	機能訓練室
56	ローラーチェアー	3	機能訓練室
57	足関節矯正用ウェッジ一式	1	機能訓練室
58	バイオフィードバック機器	1	機能訓練室
59	弾性包帯各種一式	6	機能訓練室
60	歩行介助用ベルト	3	機能訓練室
61	高さの異なる台 (4種)	1	機能訓練室
62	トレッドミル	1	機能訓練室
63	自転車エルゴメーター	3	機能訓練室
64	ハンドエルゴメーター	1	機能訓練室
65	マスターステップテスト	1	機能訓練室
66	マルチン人体測定器一式	3	機能訓練室
67	視聴覚教材各種	1	教室
67	水温計	3	水浴室
68	部分浴槽 (4種)	4	水浴室
69	水中トレッドミル	1	水浴室
88	過流浴装置	1	水浴室
89	気泡浴装置	1	水浴室
70	ギプス用具一式	1	装具加工室
71	義足及び各部品	1	装具加工室
72	義手及び各部品	1	装具加工室
73	装具及び各部品	1	装具加工室
74	座位保持装置一式	1	装具加工室
75	装具製作用具一式	6	装具加工室
76	作業台	3	装具加工室
77	血圧計	15	治療室
78	聴診器	15	治療室
79	検査測定・治療台	15	治療室
80	体温計	1	治療室
81	表面温度計	3	治療室
82	タイマー	6	治療室
83	体脂肪測定器具	6	治療室
84	形態測定器具一式	1	治療室
85	メジャー (2m)	1	治療室
86	関節角度計一式	1	治療室
87	ピンチメーター一式	1	治療室
88	握力計一式	1	治療室
89	背筋力計	1	治療室
90	バネ秤	1	治療室
91	体位排痰訓練台	2	治療室
92	ホットパック (4種)	12	治療室
93	ホットパック加温器	1	治療室
94	パラフィン浴装置	1	治療室
95	極超短波治療器	1	治療室
96	超音波治療器	1	治療室
97	赤外線治療器	1	治療室

理学療法コース主要機器・備品リスト

NO.	機器名称	数量	参考室名
98	紫外線治療器	1	治療室
99	レーザー治療器	1	治療室
100	コールドパッドパック (2種)	16	治療室
101	コールドパッド冷却器	1	治療室
102	パイプレーター	3	治療室
103	電気刺激治療器	2	治療室
104	頸椎けん引装置	1	治療室
105	腰椎けん引装置	1	治療室
106	保護眼鏡	8	治療室
107	牽引・スリング機器	10	治療室
108	牽引・スリング機器	5	治療室
109	極低温治療器	1	治療室
110	レントゲンフィルムビューアー	1	治療室
111	超音波画像診断装置	1	治療室
112	ポータブル脳波計	1	治療室
113	電動式ギャッジベッド	1	日常動作訓練室
114	電気冷蔵庫	1	日常動作訓練室
115	電気洗濯機	1	日常動作訓練室
116	電話機 (3種)	3	日常動作訓練室
117	調理道具一式	1	日常動作訓練室
118	改造衣類一式	1	日常動作訓練室
119	掃除用具一式	1	日常動作訓練室
120	ラップボード	3	日常動作訓練室
121	ポータブル便器 (3種)	3	日常動作訓練室
122	標準型車椅子	8	日常動作訓練室
123	車椅子 (5種)	5	日常動作訓練室
124	電動式車椅子	1	日常動作訓練室
125	サスペンションリング	2	日常動作訓練室
126	アームスリング (3種)	3	日常動作訓練室
127	腕可動支持器	3	日常動作訓練室
128	トランスファーボード	8	日常動作訓練室
129	リフター (2種)	2	日常動作訓練室
130	台所ユニット (車椅子用)	1	日常動作訓練室
131	バスユニット (車椅子用)	1	日常動作訓練室
132	洗面台 (車椅子用)	1	日常動作訓練室
133	入浴補助用具一式	1	日常動作訓練室
134	鍵盤楽器	1	日常動作訓練室
135	重心動揺分析装置	1	評価検査室
136	運動解析装置	1	評価検査室

福祉健康科学部における3つのポリシーとの関連性

教育の目標

「高度な専門性」と「社会人としての教養と態度」を備えた医療・福祉・心理の各分野における「実践専門職」として社会に貢献するとともに、包括的な支援を高度にマネジメントできるリーダーとして、「地域包括ケア」の考え方の実現に寄与する人材を養成します。

ディプロマポリシー(学位授与の方針)

福祉健康科学部は、福祉と医療を有機的に融合させた「福祉健康科学」という独創的な学問体系の下で、それを構成するリハビリテーション学、社会福祉学、心理学の学問領域における専門的知識と技能を体系的に修得することを通じて、さまざまな場面で活躍することができる理学療法士、福祉専門職及び心理専門職を養成します。

さらに本学部では、個別の専門職の養成にとどまらず、それぞれが連携協働して高齢者や障がい者をはじめとする要支援者の生活の包括的な支援をマネジメントできるリーダーとしての高度な資質・能力を育成し、もって「地域包括ケア」の考え方の実現を中心的に担うことができる人材を養成します。

この教育目標を踏まえ、福祉健康科学部は、学士課程を通して以下の資質や能力を修得した学生に、学士(福祉健康科学)の学位を授与します。

DP1 高度な専門性

理学療法士、福祉専門職及び心理専門職それぞれの専門性を発揮するための「知識、技能、価値」を身につけている。

DP2 生活の包括的理解

「福祉健康科学」の基礎となる「生活を包括的に支援する」という視点を理解している。

DP3 マネジメントとリーダーシップ

生活を支援する各種のサービスをマネジメントし、さまざまな専門職との関わりの中で、リーダーシップを発揮できる高度な能力を身につけている。

DP4 基礎的研究能力

科学的に実践を展開するための基本的な研究能力を身につけている。

カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

共通基礎科目

「生活の価値」の概念を修得できるとともに、医療、リハビリテーション学、社会福祉学、心理学それぞれの分野における「支援」の意味を修得できる。また、実学としての福祉健康科学の基礎を修得できる。

共通展開科目

医学、リハビリテーション学、社会福祉学、心理学それぞれの分野への相互理解を修得できる。

コース専門科目

それぞれの分野の専門職性を理解し、専門職者としての知識・技能・価値を修得できる。

チュートリアル科目

それぞれの専門職性を理解した生活支援を包括的に支援できる実践者としての資質を修得できる。

臨床実習科目

生活を包括的に支援する実践力を修得できる。

基礎研究科目

「実践を科学する」ことをめざした研究方法を修得できる。

教養教育科目

要支援者が生活する場面への理解を深め、その構造を修得できる。情報リテラシーや外国語の基礎を修得できる。

アドミッションポリシー(入学者受入方針)

本学部において、以下のような能力と意欲を持つ学生を求めます。

- 大学において、教養と専門的知識を習得するために必要な基礎学力とコミュニケーション能力を持つ人 (DP1, DP3に関連)
- 福祉社会の実現に関心をもち、自ら考え、実践・努力する人 (DP2に関連)
- さまざまな活動を主体的に取り組めるとともに、思いやりの心を持って行動できる人 (DP3に関連)
- 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持つ人 (DP3に関連)
- 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む人 (DP4に関連)

〈理学療法コース〉

- リハビリテーションの専門知識や技能を生かして社会に貢献したいという意思を持つ人

〈社会福祉実践コース〉

- 福祉の専門職として、地域に貢献し、社会に役立ちたいという意思を持つ人

〈心理学コース〉

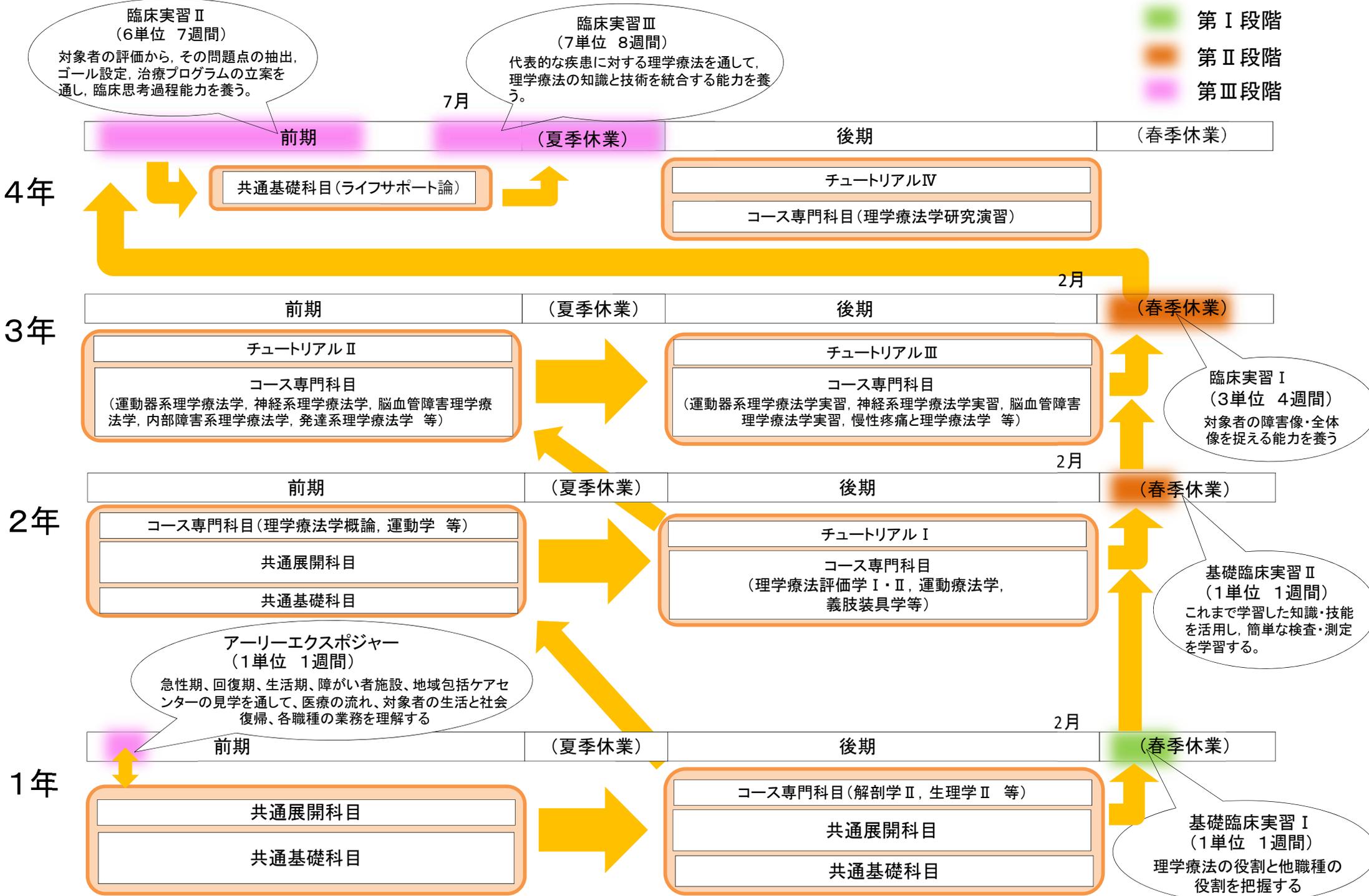
- 心理学の知識や技能を生かして社会で活躍し、貢献したいという意思を持つ人

福祉健康科学部社会福祉実践コース実習施設一覧

施設種別	法人名等	施設名
医療機関	社会医療法人 関愛会	佐賀関病院
	独立行政法人国立病院機構	大分医療センター
	大分医療センター	
	社会福祉法人農協共済	別府リハビリテーションセンター
	国家公務員共済組合連合会	新別府病院
	特定医療法人社団 春日会	黒木記念病院
	国立大学法人大分大学	大分大学医学部附属病院
	独立行政法人	湯布院病院
	地域医療機能推進機構	
児童発達支援センター	社会福祉法人 藤本愛育会	つばさ学園
児童養護施設	社会福祉法人 大分県福祉会	森の木
	社会福祉法人 小百合愛児園	小百合ホーム
	社会福祉法人 別府平和園	別府平和園
通所介護	社会医療法人 三愛会	そうだ藤の森デイサービスセンター
子ども発達支援センター	社会福祉法人 萌葱の郷	なごみ
特別養護老人	社会福祉法人 若山会	ホーム若葉苑
介護老人福祉施設	社会医療法人 三愛会	そうだ藤の森
障害者支援施設	社会福祉法人 博愛会	第一博愛寮
障害者支援施設	社会福祉法人 みずほ厚生センター	聖心園
障害者総合社会支援施設	社会福祉法人 幸福会	やまびこ広場
社会福祉法人	社会福祉法人 太陽の家	太陽の家
救護施設	大分県社会福祉事業団	大分県 湊泉寮
地域包括支援センター	由布市社会福祉協議会	由布市地域包括支援センター
	竹田市社会福祉協議会	竹田地域包括支援センター
社会福祉協議会	大分市社会福祉協議会	大分市社会福祉協議会
	竹田市社会福祉協議会	竹田市社会福祉協議会
	日出町社会福祉協議会	日出町社会福祉協議会
	臼杵市社会福祉協議会	臼杵市社会福祉協議会

理学療法コース実習計画概要

- 第Ⅰ段階
- 第Ⅱ段階
- 第Ⅲ段階



臨床実習の体制

臨床実習の流れ

実習指導者説明会

学生が実習の目的・目標を達することができるよう、実習担当教員が実習施設の実習指導者に対して本学の実習についての説明会を開催し、カリキュラムの考え方、該当する実習の位置づけ、学生が実習までに学修してきた知識・技術について説明し、理解と協力を求める。また、次年度の実習体制の改善・向上のための意見交換を実施する。

学生オリエンテーション

実習の要項をもとに、各実習責任教員が実習目的・目標、実習方法について全体オリエンテーションを行う。個々の学生が目標を達成するために、実習に対する心構え、実習に伴う倫理と実習上の注意、事前に必要な学習について説明を行う。

施設へのアンケート

臨床実習の効果を高める観点から、実習施設に対して、他大学等の実習生の受け入れ状況や各種学会の認定資格等、当該施設における研究発表の状況などに関するアンケートを行う。

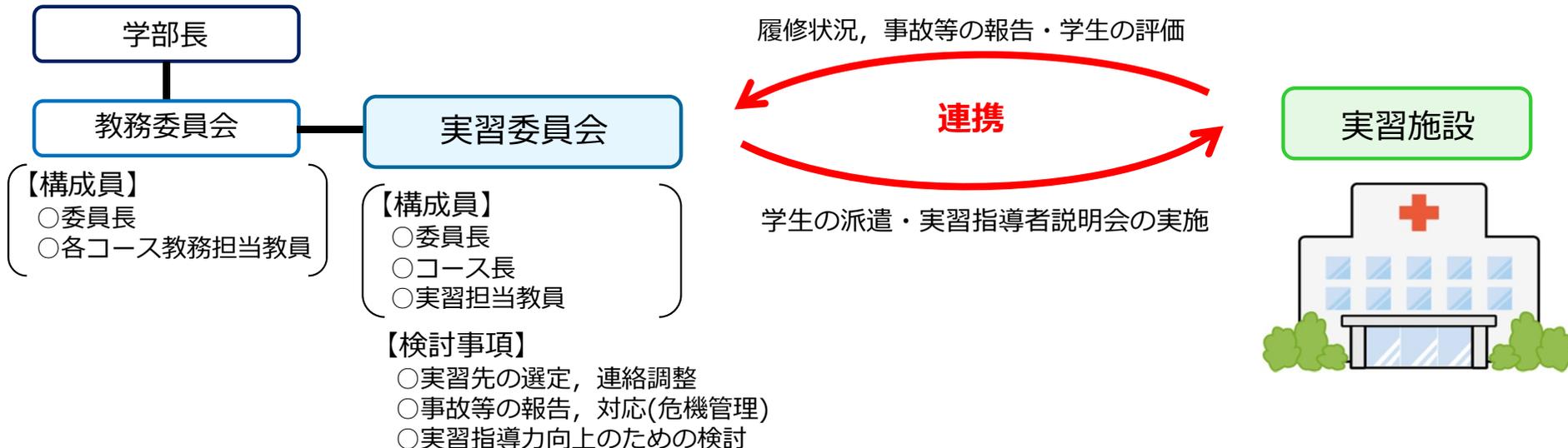
実習配属

実習担当教員は、実習状況を常に把握し、実習指導方法、指導内容についてカンファレンスを行い、学生へのアドバイスを定期的の実施する。臨地実習中の学生は、日々の記録や課題レポートなどの実習記録を作成し、実習担当教員からの指導を受ける。

成績評価

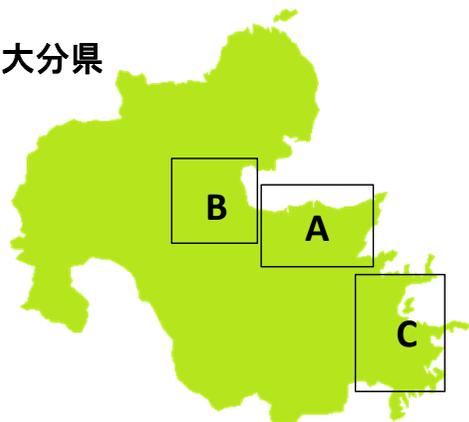
成績評価は、実習目標の達成度、理学療法実践やカンファレンスへの参加状況、日々の記録や課題レポートなどの実習記録、実習態度、施設における実習指導者の評価などから総合的に行い、決定する。

実習の実施(危機管理)体制



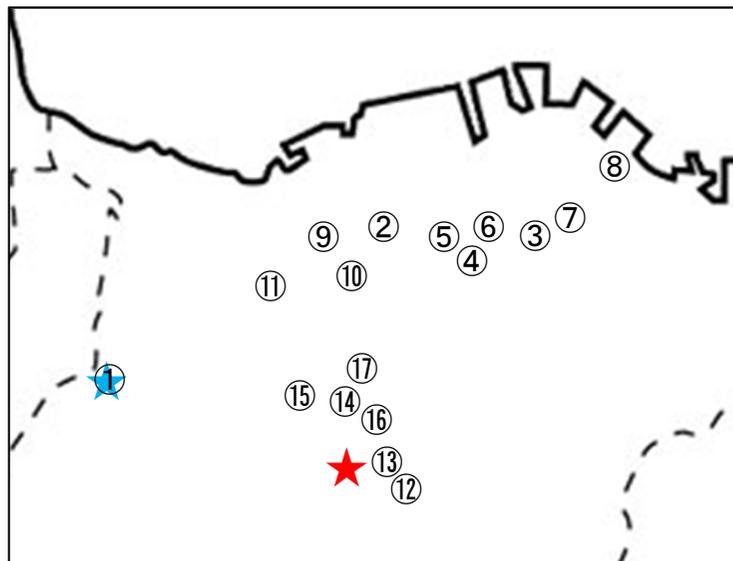
大学近郊の実習施設

大分県

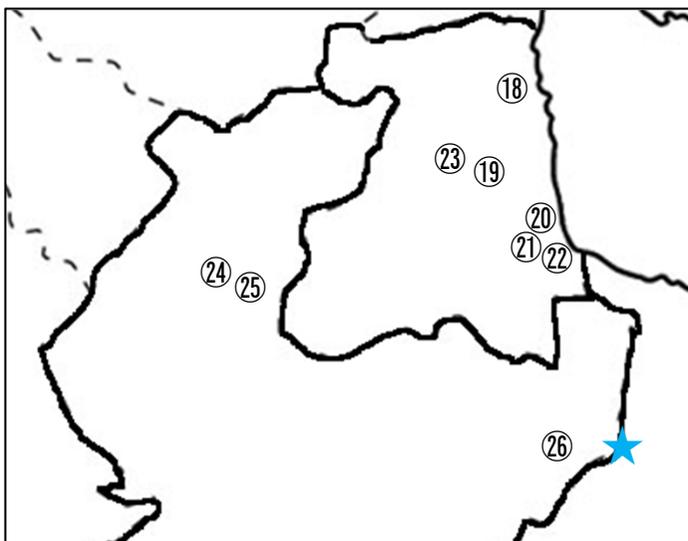


★ 旦野原キャンパス
★ 挾間キャンパス

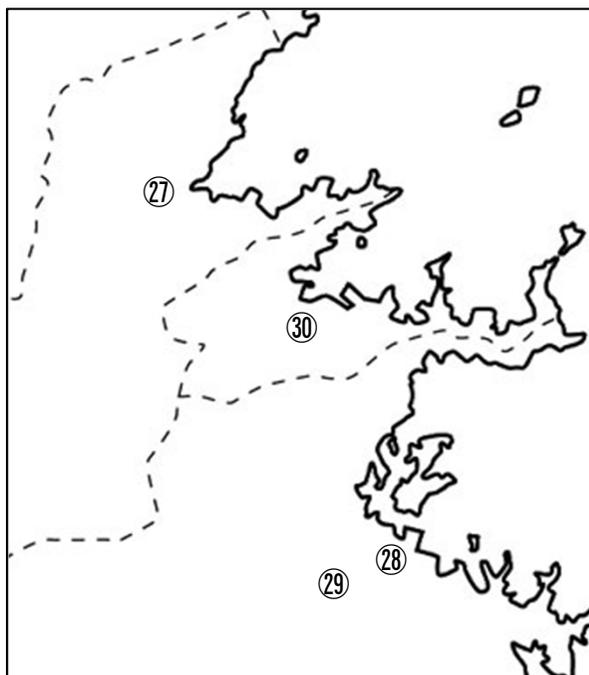
A. 大分市



B. 別府市・由布市



C. 臼杵市・佐伯市・津久見市



施設名	
1	大分大学医学部附属病院
2	医療法人芝蘭会 今村病院
3	医療法人 久真会 河野脳神経外科病院
4	医療法人唱和会 明野中央病院
5	医療法人 大場整形外科
6	医療法人ライフサポート 明和記念病院
7	社会医療法人敬和会 大分岡病院
8	独立行政法人国立病院機構 大分医療センター
9	医療法人久真会 川野脳神経外科病院
10	医療法人 大分記念病院
11	医療法人畏敬会 井野辺病院
12	えとう内科病院
13	医療法人社団親和会 介護老人保健施設親和園
14	宇都宮整形外科医院
15	社会医療法人三愛会 大分三愛メディカルセンター
16	大分市医師会立アルメイダ病院
17	大分県立病院
18	特定医療法人 社団春日会 黒木記念病院
19	国家公務員共済組合連合会 新別府病院
20	医療法人博愛会 別府中央病院
21	医療法人 恵愛会 中村病院
22	医療法人博慈会 内田病院
23	社会福祉法人農協共済 別府リハビリテーションセンター
24	医療法人 福寿会 日野病院
25	独立行政法人地域医療機能推進機構 湯布院病院
26	介護老人福祉施設 若葉苑
27	臼杵市医師会立 コスモス病院
28	医療法人小寺会 佐伯中央病院
29	独立行政法人地域医療機能推進機構 南海医療センター
30	池邊整形外科

福祉健康科学部理学療法コース 実習施設一覧表

	施設名	住所	大学からの距離 (約km)	受入可能人数				
				基礎臨床実習Ⅰ	基礎臨床実習Ⅱ	臨床実習Ⅰ	臨床実習Ⅱ	臨床実習Ⅲ
1	大分大学医学部附属病院	879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地	12.2	5	5	5	5	5
2	医療法人芝蘭会 今村病院	870-0022 大分県大分市大手町3-2-29	9	1	1	1	1	0
3	医療法人 久真会 河野脳神経外科病院	870-0127 大分県大分市森町250-7	13.3	1	0	0	0	1
4	医療法人唱和会 明野中央病院	870-0161 大分県大分市明野東2-7-33	12.4	0	0	0	0	1
5	医療法人 大場整形外科	870-0165 大分県大分市明野北1-1-11	12.5	0	0	1	1	1
6	医療法人ライフサポート 明和記念病院	870-0165 大分県大分市明野北1丁目2番17号	12.7	1	0	0	0	0
7	社会医療法人敬和会 大分岡病院	870-0192 大分県大分市西鶴崎3-7-11	14.7	2	2	1	1	1
8	独立行政法人国立病院機構 大分医療センター	870-0263 大分県大分市横田2-11-45	23.3	1	1	0	1	0
9	医療法人健裕会 永富脳神経外科病院	870-0822 大分県大分市西大道2丁目1番20号	11.4	0	0	0	1	1
10	医療法人 大分記念病院	870-0854 大分県大分市羽屋9-5	5.1	1	1	1	0	1
11	医療法人畏敬会 井野辺病院	870-0862 大分県大分市大字中尾字平255番地	42.6	1	1	1	1	1
12	えとう内科病院	870-1113 大分県大分市中判田1428-1	3.6	2	2	1	1	1
13	医療法人社団親和会 介護老人保健施設親和園	870-1114 大分県中判田1428番地の1	3.6	2	1	1	0	0
14	宇都宮整形外科医院	870-1132 大分県大分市光吉1207-1	3.9	0	0	1	1	1
15	社会医療法人三愛会 大分三愛メディカルセンター	870-1151 大分県大分市大字市1213番地	6.2	0	0	1	0	1
16	大分市医師会立アルメイダ病院	870-1195 大分県大分市大字宮崎1509-2	2.7	0	0	1	1	0
17	大分県立病院	870-8511 大分県大分市豊饒476	4.7	0	0	0	1	1
18	特定医療法人 社団春日会 黒木記念病院	874-0031 大分県別府市照波園町14-28	29.5	1	1	1	1	1
19	国家公務員共済組合連合会 新別府病院	874-0833 大分県別府市大字鶴見3898番地	27.1	1	1	1	1	1
20	医療法人博愛会 別府中央病院	874-0928 大分県別府市北のヶ浜町5-19	22.1	1	0	0	0	0
21	医療法人 恵愛会 中村病院	874-0937 大分県別府市秋葉町8-24	21.8	1	1	0	1	0
22	医療法人博慈会 内田病院	874-0938 大分県別府市末広町3番1号	21.3	0	0	1	1	1
23	社会福祉法人農協共済 別府リハビリテーションセンター	874-8611 大分県別府市大字鶴見1026-10	26.4	1	1	0	0	1
24	医療法人 福寿会 日野病院	879-5103 大分県由布市湯布院町大字川南280	51.5	1	1	1	1	1
25	独立行政法人地域医療機能推進機構 湯布院病院	879-5193 大分県由布市湯布院町川南252	41.2	1	1	1	0	1
26	介護老人福祉施設 若葉苑	879-5502 大分県由布市挾間町向原1215-2	14.4	2	2	0	0	0
27	臼杵市医師会立 コスモス病院	875-0051 大分県臼杵市大字戸室1131-1	30.8	0	0	1	0	1
28	医療法人小寺会 佐伯中央病院	876-0851 大分県佐伯市常盤東町6番30号	53.5	1	1	1	0	1
29	独立行政法人地域医療機能推進機構 南海医療センター	876-0857 大分県佐伯市常盤西町11-20	53	1	1	1	1	0
30	池邊整形外科	879-2413 大分県津久見市大字津久見浦字福3825番地72	39.2	1	1	0	0	0
31	社会福祉法人 別府発達医療センター	874-0838 大分県別府市荘園6-4	26	2	0	0	0	1
32	介護老人保健施設 聖陵ストリーム	877-0075 大分県日田市中釣町485-3	97.2	0	1	1	0	1
33	社会医療法人玄真堂 川島整形外科病院	871-0012 大分県中津市宮夫14-1	70.6	1	1	1	1	1
34	医療法人帰巖会 みえ病院	879-7111 大分県豊後大野市三重町赤嶺1250-1	28.4	3	1	1	1	1
35	医療法人平成会 サンライズ酒井病院	879-1506 大分県速見郡日出町1827-2	48.7	1	1	1	1	0
36	特定医療法人明徳会 佐藤第一病院	879-0454 大分県宇佐市大字法鏡寺77-1	58.6	1	1	1	1	1
37	大分県済生会日田病院	877-1292 大分県日田市大字三和643番地の7	95.9	0	0	0	1	0
38	多田整形外科クリニック	879-7111 大分県豊後大野市三重町赤嶺字深田1570	29	1	1	1	0	0
39	医療法人 菅原病院	836-0072 福岡県大牟田市上屋敷町1丁目1-3	190	0	0	0	0	1
40	医療法人静光園 白川病院	837-0926 福岡県大牟田市上白川町1丁目146番地	184	0	1	1	1	1
41	医療法人 曾我病院	837-0904 福岡県大牟田市大字吉野859	182	1	1	1	1	1
42	医療法人秋桜会 新中間病院	809-0018 福岡県中間市通谷1丁目36番1号	142	0	0	0	1	0
43	独立行政法人地域医療機能推進機構 久留米総合病院	830-0013 福岡県久留米市櫛原町21	145	1	1	1	0	0
44	医療法人 恵友会 霧ヶ丘つた病院	802-0052 福岡県北九州市小倉北区霧ヶ丘3-9-20	120	0	0	0	1	1
45	医療法人 オアシス 福岡志恩病院	838-0101 福岡県小郡市美鈴が丘1-5-3	137	1	1	1	0	0
46	医療法人しょうわ会 正和中央病院	807-0856 福岡県北九州市八幡西区八枝3丁目13-1	144	1	1	1	1	1
47	飯塚病院	820-8505 福岡県飯塚市芳御雄町3-83	150	1	0	0	0	0
48	一般社団法人 八代市医師会病院	866-0074 熊本県八代市平山新町4438-3	170	1	1	1	1	1
49	医療法人 悠紀会病院	865-0011 熊本県玉名市上小田1063	163	1	1	1	0	0
50	医療法人 永田会 東熊本第二病院	869-1107 熊本県菊池郡菊陽町辛川1923-1	114	1	1	1	1	1
51	医療法人博光会 御幸病院	861-4172 熊本県熊本市南区御幸笛田6-7-40	134	1	1	1	1	1
52	医療法人山部会 竜山内科リハビリテーション病院	861-8072 熊本県熊本市室園町10-17	123	1	1	1	1	1
53	医療法人杉村会 杉村病院	860-0811 熊本県熊本市中央区本荘3丁目7-18	125	1	1	1	1	1
54	医療法人藤浪会 整形外科井上病院	860-0816 熊本県熊本市中央区本荘町644	126	1	0	0	0	1
55	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	862-0965 熊本県熊本市南区田井島1-5-1	129	0	0	0	0	1
56	医療法人 慈恵会 小江原中央病院	851-1132 長崎県長崎市小江原2丁目1番20号	260	2	2	1	1	1
57	医療法人 伴帥会 愛野記念病院	854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲3838-1	256	1	1	1	1	1
58	済生会長崎病院	850-0003 長崎県長崎市片淵2-5-1	258	1	1	1	1	1

	施設名	住所	大学からの距離 (約km)	受入可能人数				
				基礎臨床実習Ⅰ	基礎臨床実習Ⅱ	臨床実習Ⅰ	臨床実習Ⅱ	臨床実習Ⅲ
59	社会医療法人 長崎記念病院	851-0301 長崎県長崎市深堀町1-11-54	266	0	0	0	1	1
60	長崎呼吸器リハビリクリニック	854-0063 長崎県諫早市貝津町1694番地	241	1	0	1	1	1
61	長崎大学病院	852-8501 長崎県長崎市坂本1丁目7-1	259	0	0	1	0	1
62	社会医療法人義順顕彰会 田上病院	851-0251 長崎県長崎市田上2-14-15	259	0	0	0	1	0
63	医療法人和光会 恵仁荘	854-0121 長崎県諫早市有喜町648番地	252	0	0	1	1	1
64	特別養護老人ホーム 恵珠苑	851-0251 長崎県長崎市田上2丁目15番12号	259	1	1	1	1	1
65	医療法人 まごころ医療館	841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上町2丁目210番地	140	0	0	0	0	1
66	医療法人整肢会 副島整形外科クリニック	843-0024 佐賀県武雄市武雄町富岡724の1	192	0	0	0	0	1
67	医療法人整肢会 副島整形外科病院	843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡7641-1	193	0	0	0	1	0
68	独立行政法人地域医療機能推進機構 宮崎江南病院	880-8585 宮崎県宮崎市大坪西1丁目2番1号	182	1	1	1	0	0
69	医療法人 養気会 池井病院	886-0007 宮崎県小林市大字真方87	215	1	1	1	1	1
70	宮崎県地域医療支援機構 小林市立病院	886-8530 宮崎県小林市大字細野2235-3	214	1	0	1	1	1
71	医療法人三和会 池田病院	886-0007 宮崎県小林市大字真方27-1	215	1	1	1	1	1
72	独立行政法人地域医療機能推進機構 宮崎江南病院附属介護老人保健施設	880-0916 宮崎県宮崎市大字恒久字鳥ノ巣6245-1	165	0	0	1	0	1
73	医療法人聖仁会 南薩ケアほすびたる	897-0215 鹿児島県南九州市川辺町平山5860	342	1	1	1	1	1
74	医療法人社団はまい会 大君浜井病院	737-2212 広島県江田島市大柿町大君962の1	370	0	1	1	1	1
75	社会福祉法人 恩賜財団 済生会今治病院	799-1592 愛媛県今治市喜田村7-1-6	206	1	1	1	1	0
76	医療法人朝陽会 美須賀病院	794-0037 愛媛県今治市黄金町3丁目4番地8	210	0	0	0	0	1
77	コープリハビリテーション病院	712-8024 岡山県倉敷市水島南春日町4-3	479	0	0	0	1	1
78	神戸徳洲会病院	655-0017 兵庫県神戸市垂水区上高丸1丁目3番10号	617	1	1	0	1	0
79	東大寺福祉療育病院	630-8211 奈良県奈良市雑司町406-1	696	0	0	0	1	0
80	医療法人良友会 西和歌山病院	640-8432 和歌山県和歌山市土入176	749	1	1	1	1	1
81	総合病院 聖隷三方原病院	433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453	899	0	0	0	0	1
82	総合病院 聖隷浜松病院	430-8558 静岡県浜松市中区住吉2-12-12	901	0	0	0	1	0
83	浜松医療センター	432-8580 静岡県浜松市中区富塚町328	902	1	1	0	0	0
84	浜松市リハビリテーション病院	433-8511 静岡県浜松市中区和合北1丁目6番1号	900	0	0	0	0	1
85	富士宮市立病院	418-0076 静岡県富士宮市錦町3番1号	1013	1	1	1	1	1
計				66	57	57	57	63

理学療法コース臨床実習受入承諾書

添付省略

科目別実習計画（理学療法コース）

実習科目	基礎臨床実習 I（見学）
実習単位	1 単位（40 時間）
実習時期	1 年次 後期（2 月中旬から 3 月中旬の間の 1 週間）
実習目的・目標	<p>【一般目標】</p> <p>実習指導者の指導の下，理学療法業務を見学し，理学療法士の役割について学ぶ。さらに，対象者を取り巻く様々な職種の役割を学び，理学療法部門との協力体制に関して体験学習する。</p> <p>【行動目標】</p> <p>①対象者とのコミュニケーションの取り方について説明できる。 ②理学療法士の役割について説明できる。 ③対象者を取り巻く職種とその役割について説明できる。 ④理学療法士以外の職種との協力体制と，その重要性について説明できる。</p>
実習の方法	<p>実習期間は 1 週間（5 日間）とし，各実習施設につき 1 名又は 2 名で実習を行う。</p> <p>実習施設において，実習指導者から以下の項目について説明を受けながら実習施設を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習施設の概要 ・リハビリテーション部門の全体像と各部門の業務と役割分担の概要 ・実習施設における理学療法部門の位置づけと他部門とのかかわり方 ・理学療法士の患者に対する臨床業務の内容 <p>学生は毎日報告書を作成し，その日体験したこと，感想，反省，考察等を記し，実習指導者の確認を受ける。報告書については実習終了時に大学へ提出する。</p> <p>また，実習期間中の成績評価は実習指導者が行い，大学へ報告する。</p>
実習指導形態	理学療法コース教員が各施設の実習指導者と連絡を取りながら，必要に応じ現地にて学生の指導等を行う。
実習担当教員	教授 2 名（河上，朝井） 准教授 1 名（浅海） 助教 3 名（川上，田中，菅田） 計 6 名
単位認定と評価	出席日数，報告書，実習指導者の評価により決定する。

科目別実習計画（理学療法コース）

実習科目	基礎臨床実習Ⅱ（計測）
実習単位	1単位（40時間）
実習時期	2年次 後期（2月中旬から3月中旬の間の1週間）
実習目的・目標	<p>【一般目標】 実習指導者の指導の下、これまでに学習した知識・技能を活用し、対象者の既往歴、現病歴、家族歴などの問診と、簡単な検査・測定を学習する。</p> <p>【行動目標】 ①カルテより情報収集ができる。 ②対象者に対して問診ができる。 ③対象者に対して形態測定、MMT および ROM test ができる。</p>
実習の方法	<p>実習期間は1週間（5日間）とし、各実習施設につき1名又は2名で実習を行う。</p> <p>実習指導者の指導の下、以下の項目について実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査の実施前に必要とされる検査項目の選択 ・得られた情報から検査を実施するにあたってのリスクとその管理 ・選択した検査項目の優先順位 ・各検査項目に必要なとされる技法と実践の方法 ・検査・測定結果についての正常・異常の判断 ・事前に把握されない所見等への対応方法 <p>学生は毎日報告書を作成し、その日に実施した検査等についての記録や考察等を記し、実習指導者の確認を受ける。報告書については実習終了時に大学へ提出する。</p> <p>また、実習期間中の成績評価は実習指導者が行い、大学へ報告する。</p>
実習指導形態	理学療法コース教員が各施設の実習指導者と連絡を取りながら、実習担当教員が各実習施設に赴き、実習中の学生の状況を把握し、適宜指導を行う。
実習指導教員	教授 2名（河上，朝井） 准教授 1名（浅海） 助教 3名（川上，田中，菅田） 計6名
単位認定と評価	出席日数，報告書，実習指導者の評価により決定する。

科目別実習計画（理学療法コース）

実習科目	臨床実習 I（アセスメント）
実習単位	3単位（160時間）
実習時期	3年次 後期（2月上旬から3月中旬の間の4週間）
実習目的・目標	<p>【一般目標】 実習指導者の指導の下、これまでに学習した知識・技能を活用し、実際の症例を通して、必要な検査・測定を実施する。さらに、得られた結果を統合・解釈して問題点を抽出する。これらを通して、対象者の障害像・全体像を捉える能力を養う。</p> <p>【行動目標】 ①対象者の情報収集ができる。 ②対象者の検査・測定ができる。 ③対象者の問題点を列挙することができる。 ④対象者のゴール設定を経験する。</p>
実習の方法	<p>実習期間は4週間（20日間）とし、各実習施設につき1名又は2名で実習を行う。</p> <p>実習指導者の指導の下、以下の項目について実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各検査データ相互に影響を及ぼす因子を見つけ出し、患者の障害を把握する。 ・評価結果から、患者の全体像を把握する。 ・理学療法治療・指導計画を遂行するにあたり、予測されるリスクや阻害因子を提示する。 <p>学生は毎日報告書を作成し、その日に実施した理学療法評価等についての記録や考察等を記し、実習指導者の確認を受ける。報告書については実習終了時に大学へ提出する。</p> <p>また、実習期間中の成績評価は実習指導者が行い、大学へ報告する。</p>
実習指導形態	理学療法コース教員が各施設の実習指導者と連絡を取りながら、実習担当教員が各実習施設に赴き、実習中の学生の状況を把握し、適宜指導を行う。
実習指導教員	教授 2名（河上，朝井） 准教授 1名（浅海） 助教 3名（川上，田中，菅田） 計6名
単位認定と評価	出席日数，報告書，実習指導者の評価により決定する。

科目別実習計画（理学療法コース）

実習科目	臨床実習Ⅱ
実習単位	6単位（280時間）
実習時期	4年次 前期（5月上旬から7月下旬の間の7週間）
実習目的・目標	<p>【一般目標】 実習指導者の指導の下，対象者の評価から，その問題点の抽出，ゴール設定，治療プログラムの立案を通して，臨床思考過程能力を養う。</p> <p>【行動目標】 ①対象者のゴール設定ができる。 ②対象者の理学療法プログラムを立案することができる。 ③可能であれば，理学療法の一部を経験する。</p>
実習の方法	<p>実習期間は7週間（35日間）とし，各実習施設につき1名又は2名で実習を行う。</p> <p>実習指導者の指導の下，以下の項目について実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者のニーズ等を考慮した妥当性のある長期目標を設定及び長期目標達成のための具体的短期目標の設定 ・理学療法治療・指導計画に従い，具体的に治療内容を立案する。 <p>学生は毎日報告書を作成し，その日に実施した内容についての記録や考察等を記し，実習指導者の確認を受ける。報告書については実習終了時に大学へ提出する。</p> <p>また，実習期間中の成績評価は実習指導者が行い，大学へ報告する。</p>
実習指導形態	理学療法コース教員が各施設の実習指導者と連絡を取りながら，実習担当教員が各実習施設に赴き，実習中の学生の状況を把握し，適宜指導を行う。
実習指導教員	教授 1名（朝井） 准教授 1名（浅海） 助教 3名（川上，田中，菅田） 計5名
単位認定と評価	出席日数，報告書，実習指導者の評価により決定する。

科目別実習計画（理学療法コース）

実習科目	臨床実習Ⅲ
実習単位	7単位（320時間）
実習時期	4年次 前期（8月上旬から10月下旬の間の8週間）
実習目的・目標	<p>【一般目標】 実習指導者の指導の下，代表的な疾患に対する理学療法を通して，理学療法の知識と技術を統合する能力を養う。</p> <p>【行動目標】 ①対象者のゴール設定ができる。 ②対象者の理学療法プログラムを立案することができる。 ③必要に応じて理学療法プログラムを修正することができる。 ④治療内容，経過等について報告ができる。 ⑤可能であれば，理学療法を実施することができる。</p>
実習の方法	<p>実習期間は8週間（40日間）とし，各実習施設につき1名又は2名で実習を行う。</p> <p>実習指導者の指導の下，以下の項目について実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床における理学療法の知識・技術の統合を図る ・成人中枢神経疾患，呼吸循環障害，小児疾患，整形外科疾患に対する理学療法を実施する <p>学生は毎日報告書を作成し，その日に実施した内容についての記録や考察等を記し，実習指導者の確認を受ける。報告書については実習終了時に大学へ提出する。</p> <p>また，実習期間中の成績評価は実習指導者が行い，大学へ報告する。</p>
実習指導形態	理学療法コース教員が各施設の実習指導者と連絡を取りながら，実習担当教員が各実習施設に赴き，実習中の学生の状況を把握し，適宜指導を行う。
実習指導教員	教授 1名（朝井） 准教授 1名（浅海） 助教 3名（川上，田中，菅田） 計5名
単位認定と評価	出席日数，報告書，実習指導者の評価により決定する。

前期				
	1年次	2年次	3年次	4年次
月曜				
1	基礎ゼミ 全員			臨床実習Ⅱ
2	英語Ⅰ		運動器系理学療法学 川上	
3	福祉健康科学概論		神経系理学療法学 浅海	
4	看護学概説		脳血管障害理学療法学 浅海	
5			内部障害系理学療法学 朝井	
6				

火曜				
1	解剖学Ⅰ		老年期理学療法学 朝井	臨床実習Ⅱ
2	生理学Ⅰ	運動学	神経難病理学療法学	
3	人体の構造と機能及び疾病		物理療法学 河上	
4			物理療法学実習 河上・川上	
5			基礎理学療法実習 朝井・田中	
6				

水曜				
1		地域包括ケア概論		臨床実習Ⅱ
2		保健医療サービス論	理学療法学研究論 全員	
3		理学療法概論 河野(礼)		
4				
5				
6				

木曜				
1				臨床実習Ⅱ
2		運動器疾患とリハビリテーション		
3	英語Ⅱ	がんリハビリテーション 片岡、兒玉、朝井、隅田、(兼)寺町		
4		内部障害とリハビリテーション	チュートリアルⅡ 全員	
5				
6				

金曜				
1	心理学概論			臨床実習Ⅱ
2				
3		神経疾患とリハビリテーション		
4				
5				
6				

後期				
	1年次	2年次	3年次	4年次
月曜				
1	生理学Ⅱ			
2		理学療法評価学Ⅰ 朝井		
3	英語Ⅲ	理学療法評価学Ⅱ 浅海	慢性疼痛と理学療法学	
4				
5	解剖学Ⅱ			
6				

火曜				
1	生理学実習	運動療法学		
2	生理学実習			
3	解剖学実習Ⅰ		神経系理学療法学実習 浅海	
4	解剖学実習Ⅱ	義肢装具学		
5	病理学		運動器系理学療法学実習 川上	
6				

水曜				
1	社会保障論Ⅰ			理学療法学研究演習 全員
2		理学療法評価学実習 川上・朝井		
3		義肢装具学実習	福祉サービスの組織と運営	
4				
5			チュートリアルⅢ 全員	
6	英語Ⅳ			

木曜				
1	リハビリテーション医学・概論			
2				
3				
4				
5		チュートリアルⅠ 全員		
6				

金曜				
1			内部障害理学療法学実習 朝井・田中	
2	人間発達学			
3			脳血管障害理学療法学実習 浅海	地域リハビリテーション学
4				コミュニティ心理学
5				
6				

実習担当教員の授業担当と実習巡回計画

<前期>

	月曜						火曜						水曜						木曜						金曜							
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
朝井 政治	授業				授業		授業				授業			授業		県内外											県内					
浅海 靖恵			授業	授業												県内外											授業			県内		
河上 敬介								授業	授業	授業						県内外											県内					
川上 健二		授業									授業					県内外											県内					
田中 健一朗												授業					県内外											県内				
菅田 陽怜							県内									県内外											県内					

<後期>

	月曜						火曜						水曜						木曜						金曜							
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
朝井 政治		授業			県内外								授業	授業				授業						授業		授業			県内			
浅海 靖恵		授業	授業		県内外				授業											県内								授業				
河上 敬介	県内外																										県内外					
川上 健二			県内外								授業		授業	授業										授業					県内			
田中 健一朗							県内																	授業					県内			
菅田 陽怜			県内外										授業											授業					県内			

... 授業
 ... 実習巡回

臨床実習年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	←→ アーリーエクスポージャー											←→ 基礎臨床実習Ⅰ(見学)
2年次												←→ 基礎臨床実習Ⅰ(計測)
3年次											←→ 臨床実習Ⅰ(アセスメント)	
4年次		←→ 臨床実習Ⅱ				←→ 臨床実習Ⅲ						

教育課程と指定規則との対比表

(国立大学法人) (大分大学) (福祉健康科学部福祉健康科学科理学療法コース)

指定規則の教育内容						別表2										計
						基礎分野		専門基礎分野				専門分野				
区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	科学的思考の基盤	人間と生活	人体の構造と機能及び心身の発達	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	基礎理学療法学	理学療法評価学	理学療法治療学	地域理学療法学	93	
			必修	選択		14	26				53					
教育課程	導入・転換	生涯学習論入門	1・2・3・4 前	2	15	○									14	
		スポーツと生活	1・2・3・4 前	2	15		○									
		大学開校論 社会人の学びと大学生の学び	1・2・3・4 後	2	15		○									
		学習ボランティア入門	1・2・3・4 前	2	15		○									
		社会福祉の発展と福祉ボランティアの役割	1・2 前	2	15		○									
		木材加工の技術	1・2・3・4 後	2	15	○										
		コンピュータ科学入門	1・2・3・4 前	2	15	○										
		初等教育のためのICT活用	1・2・3・4 後	2	15	○										
		人類の知的遺産と向き合う	1・2・3・4 後	2	15	○										
		基礎ゼミ	1 前	2	15	○										
	社会理論と社会システム	1 前	2	15		○										
	文化・国際	西洋思想の源流	1・2・3・4 前	2	15		○									
		大分美術史概論	1・2・3・4 前	2	15		○									
		器楽の楽しみ	1・2・3・4 前	2	15		○									
		国文学作品研究	1 前	2	15		○									
		古典文学講読	1・2 前	2	15		○									
		水彩画の魅力	1・2・3・4 前	2	15		○									
		手作り絵本の楽しみ	1・2・3・4 後	2	15		○									
		西洋音楽史入門	1・2・3・4 後	2	15		○									
		文化人類学	1・2・3・4 前	2	15		○									
		イギリス近代史	1・2・3・4 前	2	15		○									
		前近代日本の国家と社会	1・2・3・4 後	2	15		○									
		医学史のプロムナード	1・2・3・4 後	2	15		○									
		江戸時代の日本と世界	1・2・3・4 前	2	15		○									
		中国史学緒論	1・2・3・4 前	2	15		○									
		東アジアの諸相	1・2・3・4 後	2	15		○									
		国際関係入門	1・2・3・4 後	2	15		○									
		英語ゼミナールA	2・3・4 前	2	15		○									
		英語ゼミナールB	2・3・4 前	2	15		○									
		英語ゼミナールD	2・3・4 後	2	15		○									
		英語ゼミナールE: 英語運用力養成訓練Ⅰ	2・3・4 前	2	15		○									
		英語ゼミナールF: 英語運用力養成訓練Ⅱ	2・3・4 後	2	15		○									
		応用中国語Ⅰ	2・3・4 前	2	15		○									
		応用中国語Ⅱ	2・3・4 後	2	15		○									
		応用ドイツ語Ⅰ	2・3・4 前	2	15		○									
		応用ドイツ語Ⅱ	2・3・4 後	2	15		○									
		応用フランス語Ⅰ	2・3・4 前	2	15		○									
		応用フランス語Ⅱ	2・3・4 後	2	15		○									
		海外短期語学研修	1・2・3・4 前後	2	15		○									
		ソーシャルネットワークと大分からの発信Ⅰ	1・2・3・4 後	2	15		○									
		ソーシャルネットワークと大分からの発信Ⅱ	1・2・3・4 前	2	15		○									
		日本語学Ⅰ	1・2・3・4 後	2	15		○									
		表現技術(口頭発表)	1・2・3・4 前	2	15		○									
		言語と社会	1・2・3・4 後	2	15		○									
		海外研修	1・2・3・4 連	2	15		○									
社会・経済		現代国際政治と日本	2・3・4 後	2	15		○									
	現代社会と法	1・2・3・4 後	2	15		○										
	税金入門	1・2・3・4 前	2	15		○										
	日本国憲法	1・2・3・4 後	2	15		○										
	日本のマネジメント	1・2・3・4 前	2	15		○										
	会社組織のしくみ	1・2・3 前	2	15		○										
	会社法入門	1・2・3・4 後	2	15		○										
	革新的企業経営	1・2・3・4 前	2	15		○										
	企業の価格戦略と消費者の行動	1・2・3・4 前	2	15		○										
	企業ファイナンス入門	1・2・3・4 後	2	15		○										
金融とわたしたちの生活	1・2・3・4 後	2	15		○											
グローバル経済入門	1・2・3・4 前	2	15		○											

指定規則の教育内容						別表2											
教育課程						基礎分野		専門基礎分野				専門分野				計	
区分	授業科目	配当年次	単位数		1単位当たりの時間数	履修方法及び卒業要件	科学的思考の基礎	人間と生活	人体の構造と機能及び心身の発達	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	基礎理学療法学	理学療法評価学	理学療法治療学	地域理学療法学		臨床実習
			必修	選択													
社会・経済	経営学の基礎	1・2・3・4 後	2	15			○										
	経済学で物事をみる	1・2・3・4 後	2	15				○									
	経済学を学ぶ	1・2・3・4 前	2	15				○									
	経済統計を読む	1・2・3・4 前	2	15					○								
	経済と倫理	1・2・3・4 後	2	15					○								
	資本市場論	1・2・3・4 前	2	15				○									
	消費者と企業	1・2 後	2	15				○									
	食と農の地理学	1・2・3・4 前	2	15					○								
	日本経済入門	1・2・3・4 前	2	15					○								
	日本の財政	1・2・3・4 後	2	15					○								
	人間・労働と技術の現代史	1・2・3・4 前	2	15					○								
	経済発展と貧困削減	1・2・3・4 後	2	15					○								
	自然・科学	化学史	1・2・3・4 後	2	15			○									
		確率と統計入門	1・2・3・4 後	2	15			○									
		環境と感染症	1・2・3・4 後	2	15			○									
		環境と生物	1・2・3・4 後	2	15			○									
		幾何学	1・2・3・4 後	2	15			○									
		ゲーム理論と社会	1・2・3・4 前	2	15			○									
		原子と分子	1・2・3・4 前	2	15			○									
		現代天文学と生命	1・2・3・4 前	2	15			○									
		栽培学習論	1・2・3・4 前	2	15			○									
		進化と多様性の生物学	1・2・3・4 後	2	15			○									
		数学と文化	1・2・3・4 前	2	15			○									
		数学入門	1・2・3・4 後	2	15			○									
		生活の化学	1・2・3・4 前	2	15			○									
		生命観の変遷	1・2・3・4 前	2	15			○									
		地生態学	1・2・3・4 後	2	15			○									
		抽象化と代数学	1・2・3・4 後	2	15			○									
		微分法と数学	1・2・3・4 前	2	15			○									
		物質の状態と変化	1・2・3・4 後	2	15			○									
		物理学への招待	1・2・3・4 後	2	15			○									
		身近な化学	1・2・3・4 後	2	15			○									
		身近な物理学	1・2・3・4 後	2	15			○									
		生命科学と社会	1・2・3・4 後	2	15			○									
		エネルギー科学	1・2・3・4 前	2	15			○									
		エレクトロニクスの世界I	1・2・3・4 前	2	15			○									
		エレクトロニクスの世界II	1・2・3・4 後	2	15			○									
		くらしの化学	1・2・3・4 後	2	15			○									
		クルマと社会の関わり	1・2・3・4 後	2	15			○									
		建築構造工学	1・2・3・4 前	2	15			○									
		食品材料概説	1・2・3・4 後	2	15			○									
		植物細胞工学	2 後	2	15			○									
情報科学の世界		1・2・3・4 後	2	15			○										
初等教育のためのものづくり		1・2・3・4 前	2	15			○										
数理の世界		1・2・3・4 後	2	15			○										
福祉・地域	地域における仕事と社会	1・2・3・4 後	2	15				○									
	子育て支援の地理学	1・2・3・4 前	2	15				○									
	地域の住まい論	1・2・3・4 後	2	15				○									
	自然災害と防災の科学	1・2・3・4 前	2	15			○										
	建築環境計画	1・2・3・4 前	2	15			○										
	カラダの見方・考え方	1・2・3・4 後	2	15			○										
	地球環境とエネルギー入門	1・2・3・4 前	2	15			○										
	社会福祉と自立思想	1・2・3・4 後	2	15			○										
	障がい者福祉入門	1・2・3・4 後	2	15				○									
	アルコール関連問題入門	1・2・3・4 後	2	15				○									
現代の福祉政策	1・2・3・4 後	2	15				○										

14単位を
選択必修

14

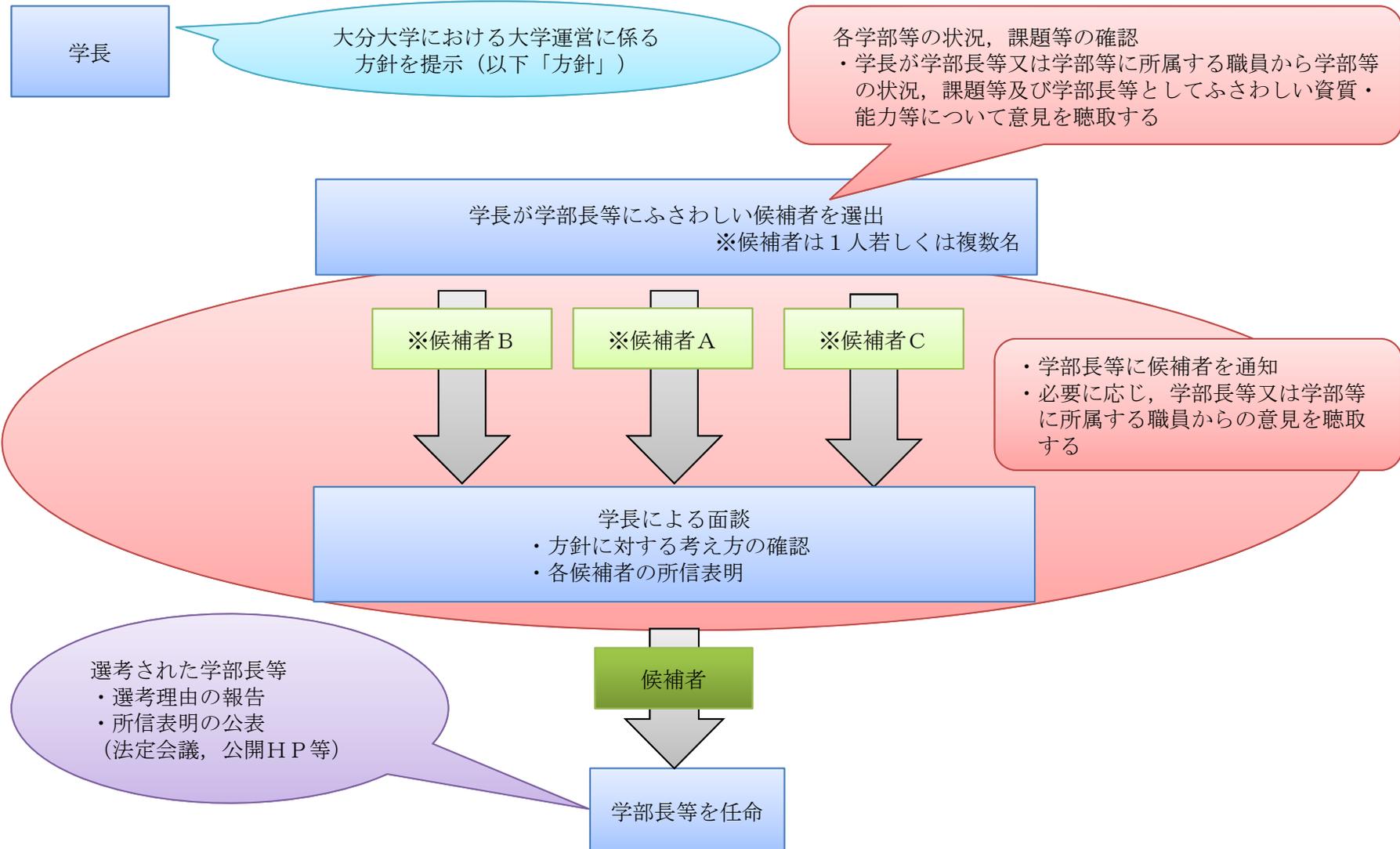
指定規則の教育内容					別表2										
教育課程					基礎分野		専門基礎分野				専門分野				計
区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	科学的思考の基礎	人間と生活	人体の構造と機能及び心身の発達	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	基礎理学療法学	理学療法評価学	理学療法治療学	地域理学療法学	
			必修	選択		1単位当たりの時間数	14	26				53			
教養教育科目	福祉・地域	市民参加と現代社会	1・2・3・4 後	2	15		○								
		福祉専門職の来し方	1・2・3・4 後	2	15		○								
		福祉テクノロジー入門	1・2・3・4 前	2	15		○								
		地域と財政	1・2・3・4 前	2	15		○								
		東南アジアの社会と教育	1・2・3・4 前	2	15		○								
		保育学基礎論	1 後	2	15		○								
		学びと生活の探求	1・2 前	2	15		○								
		地域社会へのまなざし	1・2・3・4 後	2	15		○								
		交通から見た地域社会	1・2・3・4 後	2	15		○								
		世界・日本・大分の農業経済論	1・2・3・4 前	2	15		○								
		大分の水I	1・2・3・4 前	2	15		○								
		大分の水II	1・2・3・4 後	2	15		○								
		環境の化学入門	1・2・3・4 前	2	15		○								
		自然体験活動の理論と実践	1・2・3・4 後	2	15		○								
		持続可能な開発とグローバルヘルスを考える	1・2・3・4 後	2	15			○							
		地域と情報	1・2・3・4 後	2	15			○							
		現代における青年の心理	1・2・3・4 後	2	15			○							
		現代社会と心理学	1・2・3・4 後	2	15			○							
		人体の構造と生理	1・2・3・4 前	2	15			○							
		生活習慣病とその予防	1・2・3・4 後	2	15			○							
		高齢者の身体機能と疾病の特徴	1・2・3・4 前	2	15			○							
		運動器疾患と治療・予防	1・2・3・4 後	2	15			○							
		共生社会論	1 前	2	15			○							
		医療倫理	1 前	2	15			○							
		子どもにとっての福祉とは：社会的養護と家庭支援	1・2・3・4 前	2	15			○							
		運動学習の科学	1 後	2	15			○							
		エクササイズ理論と実践	1 後	2	15				○						
		スポーツと健康づくりの科学	1 前	2	15				○						
	パラエティスポーツの実践	1 後	2	15				○							
	レクリエーション・スポーツの科学	1 前	2	15			○								
	海外・語学	英語 I	1 前	1	30		○								
		英語 II	1 前	1	30		○								
		英語 III	1 後	1	30		○								
		英語 IV	1 後	1	30		○								
基礎中国語 I		1 前	1	30		○									
基礎中国語 II		1 後	1	30		○									
基礎ドイツ語 I		1 前	1	30		○									
基礎ドイツ語 II		1 後	1	30		○									
基礎フランス語 I	1 前	1	30		○										
基礎フランス語 II	1 後	1	30		○										
小計 (教養科目)					14	14	0				0				14

指定規則の教育内容						別表2										
教育課程						基礎分野		専門基礎分野				専門分野				計
区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	科学的思考の基盤	人間と生活	人体の構造と機能及び心身の発達	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	基礎理学療法学	理学療法評価学	理学療法治療学	地域理学療法学	臨床実習	
			必修	選択												14
共通基礎科目	福祉健康科学概論	1前	2		15		○									9
	地域包括ケア概論	2前	2		15		○									
	地域マネジメント論	3前	2		15		○									
	ライフサポート論	4前	2		15									○		
	アーリー・エクスポージャー	1前	1		30									○		
	小計(共通基礎科目)					9	6	0				3				
共通展開科目	生体分野	看護学概説	1前	2		15				○						24
		人体の構造と機能及び疾病	1前	2		15		○								
		リハビリテーション医学・概論	1後	2		15				○						
		地域リハビリテーション学	4後	2		15									○	
		生理学 I	1前		2	15			○							
		解剖学 I	1前		2	15			○							
		病理学	1後		2	15			○							
		人間発達学	1後	2		15			○							
		内部障害とリハビリテーション	2前		2	15				○						
		運動器疾患とリハビリテーション	2前		2	15				○						
		がんとリハビリテーション	2前		2	15				○						
		神経疾患とリハビリテーション	2前		2	15				○						
	言語聴覚療法学	2前		1	15				○							
	社会分野	社会保障論 I	2前	2		15		○								14
		保健医療サービス論	2前	2		15				○						
		福祉サービスの組織と運営	3後	2		15				○						
		地域福祉論 I	2前		2	15		○								
		現代社会と福祉 I	1前		2	15		○								
		高齢者福祉論 I	1後		2	15		○								
	心理分野	心理学概論	1前	2		15		○								38
		社会心理学	3後	2		15				○						
		コミュニティ心理学	4後	2		15		○								
		ライフサイクルの心理学	1後		2	15		○								
		健康心理学	1後		2	15		○								
老年心理学		2前		2	15		○									
障害児者心理学		2前		2	15		○									
リハビリテーション心理学		1後		2	15		○									
小計(共通展開科目)					38	6	30				2					
チュートリアル科目	チュートリアル I	2後	2		15						○				6	
	チュートリアル II	3前	1		15							○				
	チュートリアル III	3後	2		15								○			
	チュートリアル IV	4後	1		15									○		
	小計(チュートリアル科目)					6	0	0				6				

指定規則の教育内容						別表2												
						基礎分野		専門基礎分野				専門分野				計		
区分	授業科目	配当年次	単位数		1単位当たりの時間数	履修方法及び卒業要件	科学的思考の基礎	人間と生活	人体の構造と機能及び心身の発達	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	基礎理学療法学	理学療法評価学	理学療法治療学	地域理学療法学		臨床実習	
			必修	選択			14	26				53				93		
コース専門科目	基礎系	理学療法概論	2前	2	15	4単位必修						○						
		義肢装具学	2後	2	15									○				
	医学系	生理学Ⅱ	1後	2	15	6単位必修			○									
		解剖学Ⅱ	1後	2	15				○									
		運動学	2前	2	15				○									
	リハビリテーション分野系	理学療法評価学Ⅰ	2後	2	15	22単位必修							○					
		理学療法評価学Ⅱ	2後	2	15									○				
		運動療法学	2後	2	15										○			
		運動器系理学療法学	3前	2	15								○		○			
		神経系理学療法学	3前	2	15								○		○			
		脳血管障害理学療法学	3前	2	15								○		○			
		内部障害理学療法学	3前	2	15								○		○			
		発達系理学療法学	3前	2	15											○		
		老年期理学療法学	3前	2	15											○		
		神経難病理学療法学	3前	2	15											○		
		慢性疼痛と理学療法学	3後	1	15								○					
	物理療法学	3前	1	15										○				
	究基礎科目	理学療法学研究論	3前	2	15	4単位必修							○					
		理学療法学研究演習	4後	2	15									○				
	実習系	生理学実習	1後	1	30	11単位必修			○									
		解剖学実習Ⅰ	1後	1	30				○									
		解剖学実習Ⅱ	1後	1	30				○									
		義肢装具学実習	2後	1	30										○			
		物理療法学実習	3前	1	30										○			
		基礎理学療法実習	3前	1	30										○			
		理学療法評価学実習	2後	1	30									○				
運動器系理学療法学実習		3後	1	30											○			
神経系理学療法学実習		3後	1	30											○			
脳血管障害理学療法学実習		3後	1	30											○			
内部障害理学療法学実習		3後	1	30											○			
臨床実習	基礎臨床実習Ⅰ(見学)	1後	1	40	18単位必修											○		
	基礎臨床実習Ⅱ(計測)	2後	1	40													○	
	臨床実習Ⅰ(アセスメント)	3後	3	40													○	
	臨床実習Ⅱ	4前	6	40													○	
	臨床実習Ⅲ	4前	7	40													○	
小計(コース専門科目)						65	0	9				56				65		
卒業要件単位数						132	26	39				67				132		
指定規則に対する増単位数							12	13				14				39		

学部長等選考について

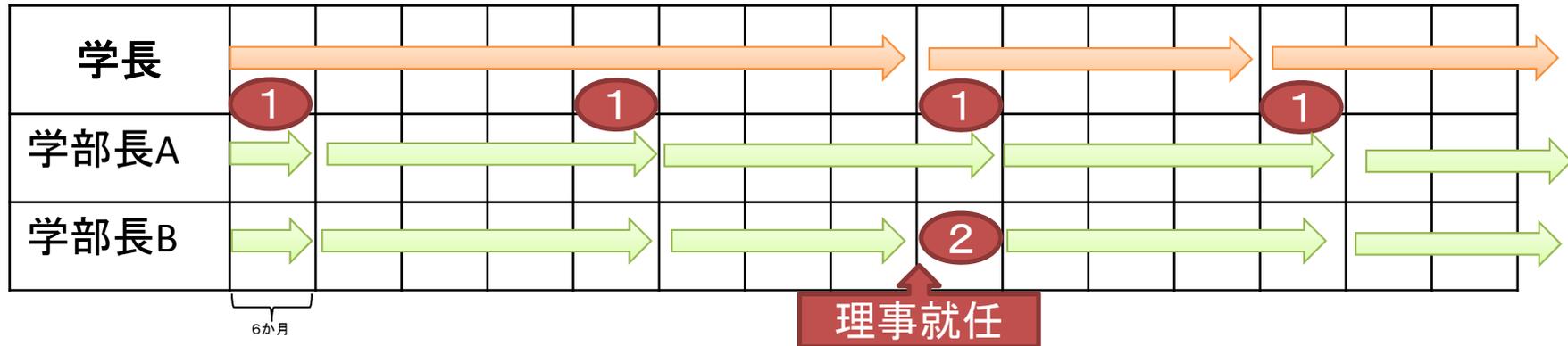
1. 学部長等選考方法



学部長等選考について

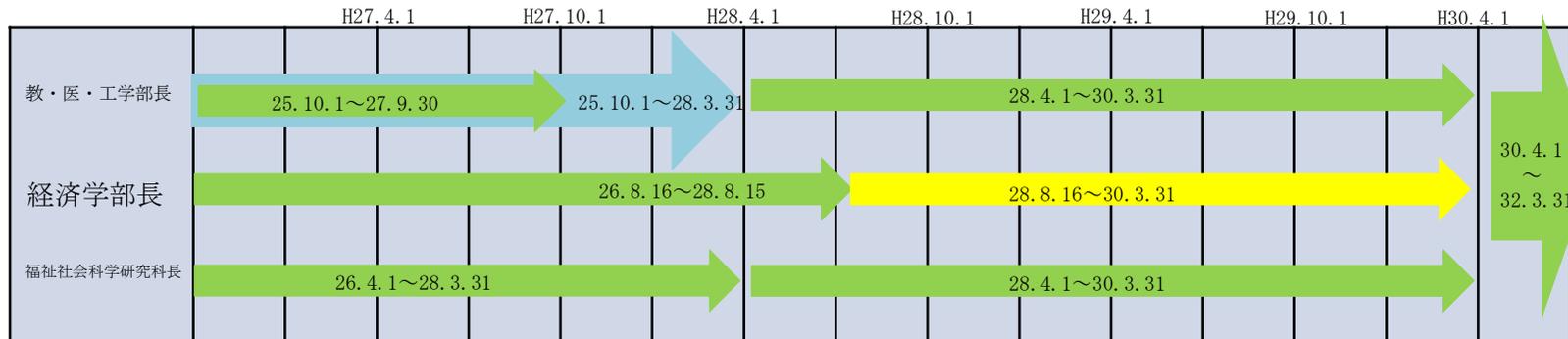
2. 任期

- ・任期2年。再任可
- ・学部長の周期をそろえる。



(上記図の解説)

- ・①の期間に、方針を提示し学部長を選考する。
- ・学部長の周期は、全学部で統一し、任期途中で代わる場合は、次の学部長の任期②は残任期間とする(学部長Bのケース)。
- ・学部長の周期が揃うまで、特例措置有。(附則で対応)



3. 業績評価

- ・学部長は学部における管理運営状況について報告を行う。
- ・評価結果によって、学部長を任期中に解任することがありうる。